

平成28年度  
総合問題  
(第一部 商経学科)

13:00～14:30

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は2枚あります。
- 3 試験開始の合図があったら、まずページ数、枚数を確認し（足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること）、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 この問題冊子にある余白のページは、下書きなどに利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

課 題

資料 1, 2 を読んで, 後の問いに答えなさい。

資料 1

【省略】

【省略】

(大竹文雄『競争と公平感』2010年，中公新書，pp.105～107より)

資料2

【省略】

【省略】

(前掲書, pp. 221~223 より作成)

問1 資料1において, 近年, 行動経済学が急速に発展してきた理由を著者はどのように考えているか, 300字程度で要約しなさい。

問2 非合理的な人間の存在を前提にして公的な規則, 税制, 社会保障制度が設計されることの是非について, 資料1, 2に述べられていることを踏まえ, あなたの考えを述べなさい。

問3 金利のことを考えない場合(利息がつかない場合), 資料2のAさんとBさんの70歳, 75歳, 80歳の時の貯蓄額の折れ線グラフを解答用紙の凡例にしたがって, 作成しなさい。

問4 預貯金における「複利」とは, 預けたお金(元金)によって, 生じた利息を次期の元金に含める計算方法である。例えば, 10万円を10%の年利(1年間の利息)で預けた場合, 1年後には利息1万円を含め11万円になるが, 2年目(次期)はこの11万円が元金となり, 10%の利息(1万1千円)が生じ, 合計12万1千円となる。

Aさんが, 毎年4月1日に20万円ずつ5%の年利(翌年の3月31日に利息がつく)で預け, それを一切使わない場合, 1年後, 2年後, 3年後の3月31日の貯蓄額を求めなさい。

問5 下線部を英訳した場合, 下の( )内に入る適切なものを以下のア~オから選んで記号で答えなさい。

the public ( ) system

ア money

イ hotel

ウ apartment

エ mansion

才 pension

問6 次の英文を和訳しなさい。

I have no regrets in my life. I am going to make use of every opportunity so as not to feel regret afterwards.





